

大学の世界展開力強化事業 H27取組概要 早稲田大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-Ⅱ))

アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想

【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア地域統合のための永続的な大学院教育拠点として東アジア大学院(East Asian University Institute: EAUI)を2020年に開設することであり、EAUIを通じて「地球益」と「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材を養成する。

【構想の概要】早稲田大学、北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール)の5大学の連携で拠点を形成し、アジア地域統合プログラム(Semester 交換留学、サマー/ウィンター・スクール、集中講義)、および共同研究を展開する。アジア地域統合に関する社会科学をベースとした包括的専門性を持つ人材を育成する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

〈第4回ウィンタースクール〉

1. プログラム修了認定制度の整備

本研究科とパートナー大学2校間での連名による「EAUIプログラムジョイント・サーティフィケート」を合計14名(本学学生4名、パートナー大学学生10名)の学生に交付した。

2. 合同教職員会議の実施

計2回の合同教職員会議を開催し、ジョイント・サーティフィケート制度、サマー/ウィンタースクールの質的改善、プログラムの将来像、共同教育プログラムの開発等について5大学の教職員で協議した。また、助成期間終了後のプログラム運営方針・体制についての具体的協議を進展させた。



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈第4回ウィンタースクール〉



1. サマースクール、ウィンタースクールの実施

第4回サマースクールを中国北京大学にて、第4回ウィンタースクールを本学にて開催し、5大学の教職員及び大学院生が参加した。学生は全大学の教員が担当する講義を受け学生同士の議論を深め、互いの考え方を学ぶ機会を得た。また、同スクール期間中には国際シンポジウムが開催され、学生は専門家のプレゼンテーションスキルを学び、最終日には5大学混合グループで5日間の集大成を発表した。

2. セメスター交換留学(派遣・受入)の実施

セメスター交換留学プログラムによる学生の派遣・受入を実施した。全5大学の学生が本学およびパートナー4大学において4専門分野×4テーマのマトリクスに配置された科目を中心に履修し、講義や討論を通じてアジア地域統合への理解を深めた。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

1. 日本人学生の派遣 交換留学ではナンヤン工科大学に4名、タマサート大学に8名、北京大学に1名の本学学生を派遣した。また中国でのサマースクールには20名の本学学生を派遣した。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	19	26	26	27	33
学生の受入	20	40	49	44	43
他大学間移動		15	※	15	15

※バンコク政情不安に伴うウィンタースクール中止により実施せず。

2. 外国人留学生の受入れ

交換留学では高麗4名、ナンヤン工科大学7名、北京大学3名、タマサート大学2名を受入れ、ウィンタースクールでは4大学から合計計27名の学生を受入れた。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

1. 日本人学生の派遣

入試広報媒体・イベントで当研究科入学前の日本人学生に対してプログラムの広報を行い、出願時にプログラム参加希望に関するアンケートを取ることで、入学前から留学に対する動機づけを図った。セメスター交換留学において日本人学生の留学機会を拡大するため、英語以外の現地公用語(中国語、韓国語、タイ語)での科目履修を可能とし、セメスター交換・短期プログラムを当研究科以外の研究科の学生に広く開放した。

2. 外国人留学生の受入

外国人留学生の受入れに際しては、EAUI事務局が渡航手続きや宿舍手配をサポートし、本プログラム専任の助教がセメスター交換で受入れる外国人留学生専用のチュートリアルやフィールド・トリップを実施し、学業面でのきめ細やかなサポートを行った。

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開・成果の普及

国際シンポジウムの開催、参加学生による学外発表、ホームページ上での公開

当プログラム事業はホームページにて適宜公開している。年に2回アジア地域統合・地域協力に関する国際シンポジウムを開催しているが、協定校以外からも研究者を招聘することにより、プログラム構想の周知に努めている。「日経ビジネス」(オンライン版含む)と「日経Woman」に東アジア大学院(EAUI)構想についてプログラム参加者(本学在学学生、本学修了生、高麗大学・北京大学・タマサート大学からのセメスター交換留学生)が語りあう座談会形式の広告記事を掲載し、「大学の世界展開力強化事業」の効果及び課題を広くアピールし、同事業の広報活動に大きく貢献した。